

平成28年第4回大野城市議会12月定例会一般質問通告

○本会議 3 日目（一般質問）

平成28年12月14日 午前 9 時 30 分（於 議 場）

氏 名	件 名
井福 大昌	1. サブカルチャーによるにぎわいづくりの創出 (1) 市のにぎわいづくりにむけた取り組みが、大野城市にぎわいづくり協議会もでき活発に進められている。そのにぎわいの中に、サブカルチャーに対する意識を現状、どれくらいお持ちですか (2) 現在、集英社のヤングジャンプという雑誌に「キングダム」という漫画が連載中。この漫画は中国の秦の始皇帝の時代を描いた歴史（ロマン）物の漫画で、コミックスが累計2,600万部も発売されたお化け漫画であり、NHKでアニメ化され放映もされる程、人気が出ています
森 和也	1. 北コミュニティセンター天体観測運営事業について (1) 北コミュニティセンターの天体観測施設について (2) 市の天体観測事業に対する将来計画及び今後の施設の具体的な改修及び運営の計画を聞かせていただきたい
関岡 俊実	1. 西鉄連続立体交差事業に伴う下大利駅周辺の現状と課題について (1) 下大利南ヶ丘線等のバス路線の変更計画と東口バス停の設置について (2) 西口広場の暫定整備と今後の計画について (3) 交番設置の見通しについて (4) 歩道上の自転車走行の現状と安全対策について 2. 危険踏切の改良とJR水城駅周辺の整備について (1) 改正踏切道改良促進法に基づく危険踏切の改良について (2) 交通バリアフリーに基づく基本方針の改定に伴う移動等円滑化の整備について
昼 休 憩	
松下 真一	1. マイナンバー制度について (1) マイナンバーカードの発行状況について (2) 個人番号を記載する事務手続きについて (3) 情報漏洩の管理対策について 2. 公共施設のトイレの改善について (1) 小中学校及び公共施設のトイレの整備状況について (2) 子どもの健康障害とトイレの関係について (3) 学校のトイレの改善についての見解
平井 信太郎	1. 公共施設での中高生の学習環境について (1) 公共施設での中高生の学習環境の現状について (2) 公共施設における学習環境改善及び充実について

氏 名	件 名
	2. 一般質問後の検証について 家庭ごみの出し方（平成27年9月） 公共施設の利用状況（平成27年12月） 公共施設電力自由化（平成28年3月） (1) 家庭から出るごみの出し方についての検証 (2) 公共施設の利用状況についての検証 (3) 電力自由化に伴う本市の対応についての検証
河村 康之	1. 障がい者に対する支援と教育について (1) 心のバリアフリー教育について (2) 移動支援について 2. 高齢者支援事業について (1) 認知症について (2) 介護ロボットの活用について
大塚 みどり	1. 障がいのある人にやさしいまちづくりについて (1) 大野城市高架下利用及び市街地活性化基本計画における西鉄白木原駅や下大利駅及び周辺の整備について 2. 震災を教訓としたわがまちの防災や情報収集と伝達について (1) 防災における男女参画について (2) 情報収集と伝達の方法についての設備について

○本会議 4 日目（一般質問）

平成28年12月15日 午前 9 時 30 分（於 議 場）

氏 名	件 名
松崎 百合子	<ol style="list-style-type: none">1. 多様な性の尊重について<ol style="list-style-type: none">(1) LGBT（性的少数者）への人権侵害の報告や、当事者からの相談状況はいかがか(2) 性的少数者にはどのような困難や社会的障壁があると考えられるか(3) 性的少数者の人権尊重・多様な性を認め合う地域づくりに向けての本市の取り組み状況はいかがか(4) 市営住宅の入居資格は、どうなっているのか。そのなかで、同性カップルの入居についてはいかがか(5) 同性カップルに結婚と同等の権利を認めるパートナーシップ制度の実施はいかがか2. 中学校での労働者教育について<ol style="list-style-type: none">(1) 昨年 12 月議会で、県の労働政策課からの中学校への出前講座について質問した。学校へ情報提供しカリキュラムに活かすとの答弁であったが進捗状況はいかがか(2) 憲法が保障している健康と権利が守られ人間らしく若者たちが働けるために、労働基準法の学びや働くなかで権利侵害されたときに相談できる事等を学ぶ労働者教育の充実が中学校で必要と考える。モデル校の指定などを行い推進してはいかがか3. 日本国憲法施行70年への取り組みについて<ol style="list-style-type: none">(1) 来年 5 月 3 日には日本国憲法施行70年を迎える。日本国憲法の主権在民、基本的人権の尊重、平和主義は、市民生活の基盤となっている。市長、議員を含めてすべての公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。しかし基本的人権の尊重をはじめその理想は道半ばであり、憲法の尊重と順守のためには何度も何度も学びなおす機会が必要である。
松田 美由紀	<ol style="list-style-type: none">1. 骨髄バンクドナー支援助成制度について<ol style="list-style-type: none">(1) 骨髄バンク登録に対する普及啓発の取り組み状況について(2) ドナーへの支援について2. 放課後総合学習ランドセルクラブについて<ol style="list-style-type: none">(1) 平成30年度までを試行期間とし、モデル校で取り組むとあるが、現在の各学校の登録児童数やボランティア（講師・指導員・補助員）の状況はどのようになっているか(2) 放課後子ども総合プランには全ての児童に安全・安心な居場所の確保と記されているが、実際登録を希望した児童が入れない現状がある。各学校で入れなかった児童はどれくらいいるのか(3) 登録後に登録を取り消した児童数は(4) 放課後子ども教室（アンビシャス広場）との違いについて(5) 留守家庭児童保育所（学童保育）との連携について(6) ランドセルクラブの現状課題について

氏 名	件 名
清水 純子	<p>1. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）と、男女が働き続けるための環境整備について</p> <p>(1) 女性の活躍推進には、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進が必要ではないか</p> <p>(2) 政府は、働き方改革を進めるとして9月に働き方改革実現会議を開催。その目的と本市の今後の取り組みについて</p> <p>(3) 育児と仕事に積極的な男性（イクメン）に対し、そのことを理解し、自らの仕事と生活を充実させている上司（イクボス）についての見解は</p> <p>(4) 第4次男女共同参画基本計画がめざすものとして、女性活躍が政策として出されたが、これを受けて本市の計画策定は</p> <p>2. 休日保育事業について</p> <p>(1) 日曜・祝日に勤務する保護者が安心して、子育てと仕事が両立できるように、休日保育が必要と2014年12月に一般質問をした。経過と結果について</p>